

律令政治・奈良時代

<律令政治>

701年 ^{なかとみの}中臣（藤原）^{なまたり}鎌足の子である①_____らが、唐の②_____にならって
③_____を作りました。

- * ^{りつ}律 は罪人を裁くための刑法です。
- * ^{りょう}令 は役所や役人などに対して政治を行う決まりを定めた法律を意味します。

②にもとづいて行なわれた政治を④_____といいます。
→天皇中心の政治を強化するしくみになります。

しくみ

- 中央には2官8省の役所が置かれました。
- 地方は国、群 に分けられそれぞれに⑤_____、⑥_____がおかれて治めました。
- 唐にならい、^{こせま}戸籍にもとづいて土地を与えて税を取る
⑦_____がおこなわれました。6歳以上の男女には
⑧_____が与えられました。（6歳以上の男子に2反、女子にその3分の2）

農民にかせられた税は

田にかかる税 ⑨_____（収穫した稲の⑩_____％）

特産物を納める ⑪_____

^{ろうえき}労役の代わりに布を納める ⑫_____

地方での労役である⑬_____や、九州の守りにつく⑭_____がありました。

<奈良時代のはじまり>

①_____年には元明天皇が、唐の都②_____を手本に、今の奈良市に③_____という新しい都を作りました。

* この後都が移されるまでの約80年間を④_____時代といいます。

歴史プリント

都では東市^{いち}と西市が開かれ、⑤ _____ というお金が使われました。
(④より古い、日本最古の銅銭^{どうせん}は⑥ _____)

<奈良時代の政治、社会>

このころの農民は、^{たてあなしきじゆうきよ}竪穴式住居に住み、重い勢に苦しんでいました。

◇ 農民の様子は① _____ がつくった「② _____」を読むと分かります。

人口増加して耕地が不足し、それを解消するために

723年に③ _____

743年④ _____ を出しました。

これは新しく開墾^{かいこん}した土地は永久に私有^{しゆう}出来ることを認めたものです。これにより寺社や貴族の私有地⑤ _____ が発生しました。

→公地公民制がくずれはじめます。

・奈良の都のあとからは、⑥ _____ とよばれる木の札が大量に発掘^{はつくつ}されました。これに文字を書き、情報を伝えました。

<奈良時代の外交、文化>

奈良時代の文化を① _____ といいます。

② _____ 天皇は、仏教の力で国を治めるために国ごとに

③ _____ と④ _____ を建てることを命じました。

また、総国分寺として都に⑤ _____ を建てて、大仏をつくるように命じました。

東大寺にあり聖武天皇^{いひん}の遺品などが納められている建物は⑥ _____ です。遺品の中にはシルクロードを通じて伝えられたものもあります。

この断面が三角形の木材を組み合わせて、壁にした建物のつくりを

⑦ _____ といいます。

橋や道路をつくるなどの社会事業につとめ大仏づくりに協力した僧は

⑧ _____ です。

630年 朝廷は唐の制度や文化を取り入れるために⑨_____年に最初の
⑩_____を送りました。(犬上^{いぬかみ}御田^{みたま}鍬^{くわ}ら)

★⑪_____は帰国の船が難破^{なんぱ}したため、唐の役人として一生を送りました。

★唐の高僧⑫_____は、失明してもくじけず、日本に来て
⑬_____を^{こんりゅう}建立しました。

894年 ⑭_____の意見によって⑩は停止されるまでに十数回送られました。

奈良時代には歴史書が作られました。

・712年 太安万侶^{おおのやすまろ}らによって日本最古の歴史書 ⑮_____が
まとめられました。

・720年 舎人親王^{とねりしんのう}らによって⑯_____がまとめられました。

朝廷が国司に、土地のようす・産物などを書物にまとめさせた地理書を
⑰_____といいます。

奈良時代にまとめられた、日本最古の和歌集は ⑱_____

解答

*数値、読み方、表記法などは、主に使用している教科書、テキストに合わせてください。

*地名、人名などは出来るだけ漢字で書けるように練習しましょう。

*地名は必ず地図でどこにあるか確認してください。

*歴史の教科書の内容は改訂が多いので、現在使用している教科書で内容を確認してください。

<律令政治>

- ① 藤原不^{ふじわらふひと}比^ひ等^と ② 律^{りつりょう}令^{りょう} ③ 大宝^{たいほう}律^{りつりょう}令^{りょう} ④ 律^{りつりょう}令^{りょう}政^{せい}治^じ ⑤ 国^{こくし}司^し ⑥ 郡^{ぐんじ}司^し
⑦ 班^{はん}田^{でん}收^{しゅう}授^{じゆ}の法^{ぽう} ⑧ 口^く分^{ぶん}田^{でん} ⑨ 租^そ ⑩ 3
⑪ 調^{ちよう} ⑫ 庸^{よう} ⑬ 雑^{ぞう}徭^{よう} ⑭ 防^{さきもり}人^{にん}

<奈良時代のはじまり>

- ① 710 ② 長^{ちやう}安^{あん} ③ 平^{へい}城^{じやう}京^{きやう} ④ 奈^な良^{らう} ⑤ 和^わ同^{どう}開^{かい}珎^{ちん} ⑥ 富^ふ本^{ほん}銭^{せん}

<奈良時代の政治、社会>

- ① 山^{やま}上^{のうえ}憶^{おくら}良^{らう} ② 貧^{ひん}窮^{きゆう}問^{もん}答^{とう}歌^か
③ 三^{さん}世^ぜ一^{いつ}身^{しん}の法^{ぽう} ④ 墾^{こん}田^{でん}永^{えい}年^{ねん}私^し財^{ざい}法^{ぽう} ⑤ 莊^{しょう}園^{えん} ⑥ 木^{もく}簡^{かん}

<奈良時代の外交、文化>

- ① 天^{てん}平^{びやう} ② 聖^{しょう}武^む ③ 国^{こく}分^{ぶん}寺^{にじ} ④ 国^{こく}分^{ぶん}尼^に寺^じ ⑤ 東^{とう}大^{だい}寺^じ ⑥ 正^{しょう}倉^{そう}院^{いん}
⑦ 校^{あぜ}倉^{くら}造^{づく}り ⑧ 行^{ぎやう}基^き ⑨ 630 ⑩ 遣^{けん}唐^{とう}使^し ⑪ 阿^あ倍^{べい}仲^な麻^ま呂^ろ ⑫ 鑑^{がん}真^{じん}
⑬ 唐^{とう}招^{しょう}提^{だい}寺^じ ⑭ 古^こ事^じ記^き ⑮ 日^{にっ}本^{ぽん}書^{しよ}紀^き ⑯ 風^{ふう}土^ど記^き ⑰ 万^{まん}葉^{えつ}集^{しふ}